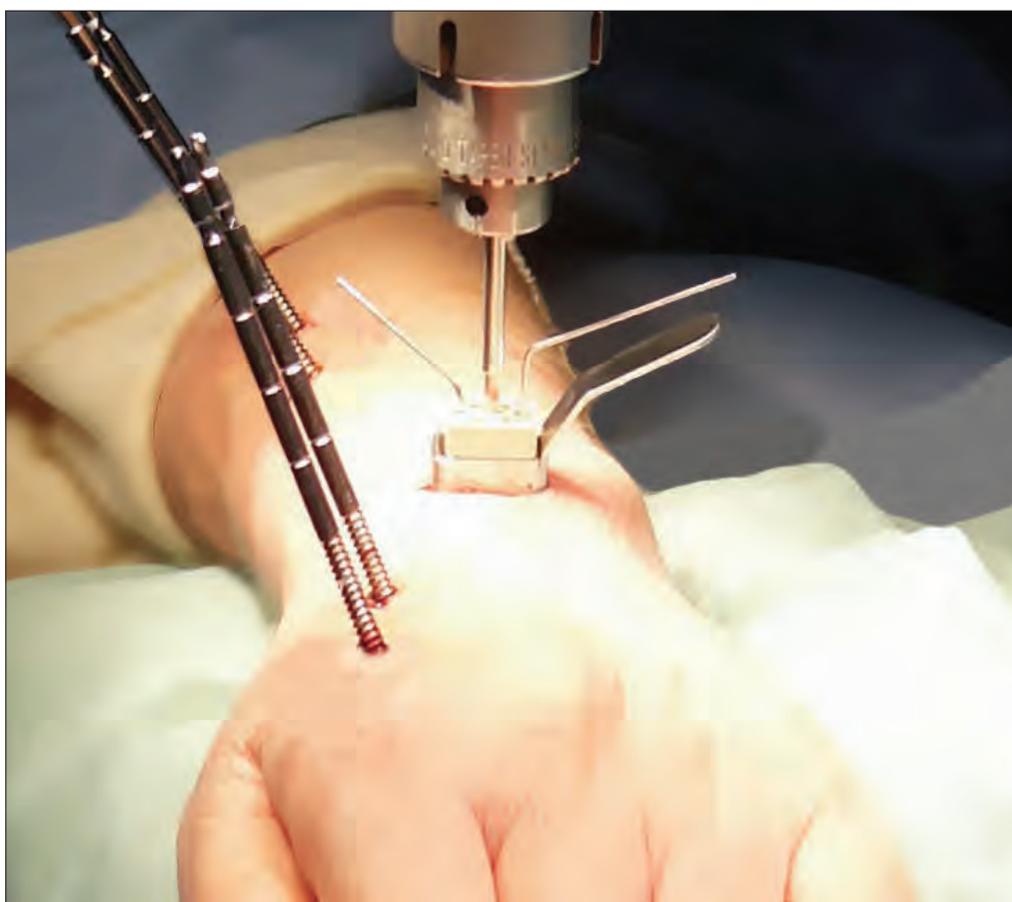

月状骨ドリルガイドセット

LUNATUM DRILL GUIDE SET



株式会社 イソメディカルシステムズ

適 応

Kienböck（キーンベック）病

特 長

従来の手術法より低侵襲な治療が可能です。

ドリルガイドをピンで月状骨に固定することができるため、ドリリングと骨髓血の注入が容易におこなえます。

ドリルビットにストッパーが付いており、深さを調整する必要がありません。

ドリルガイドがX線透過のため、正確な設置が可能です。

術前の準備

手関節用の創外固定器 - 壊死をおこしている骨の圧壊を防ぐために用います。

移動型X線テレビ装置 - 透視下で手術を行います。

使用方法

1. 骨髓血の採取

創外固定器の橈骨用のピンのドリルホールから、あらかじめ骨髓血を採取しておきます。この際、ドリルホールは手前の皮質骨のみを開け、骨髓血を採取した後に、ドリルホールを貫通させます。

2. ドリルガイドの設置

透視下で月状骨の位置を確認した後、皮切を行い、ドリルガイドを月状骨の上に設置します。四隅の0.8mm用の穴に固定ピンを刺入し、ドリルガイドから数ミリ上方で折り曲げます。

3. ストッパー付ドリルの刺入

ストッパー付ドリルをドリルガイドの2.0mm用の穴に刺入します。ドリルはドリルガイドの下面から10mm出るようになっています。

4. 骨髓血の注入

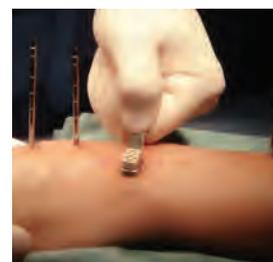
あらかじめ採取した骨髓血をドリルガイドの2.0mm用の穴から注入します。

5. ドリルガイドの取り外し

固定ピンをベンチ等で抜去し、ドリルガイドを取り外します。

6. 創外固定器の設置

創外固定器を設置します。



セット内容

1-128-000-01

ドリルガイド

0.8mm用4穴 2.0mm用7穴



1-128-000-02

ストッパー付ドリル

全長60mm 径2mm,3mm



1-128-000-03

固定ピン (4本)

全長60mm 径0.8mm



特許出願中

発明者:落合直之(筑波大学臨床医学系整形外科教授)

研究者:株式会社リエゾン研究所(筑波大学TLO)

:株式会社イソメディカルシステムズ



株式
会社 **イソメディカルシステムズ**

製造販売元 〒277-0863 千葉県柏市豊四季495-14

TEL 04 (7141) 4021 FAX 04 (7141) 4022

承認番号: 22100BZX00230000